

労福協 NEWS

2012.7 No.59

「あわ地域若者サポートステーション」 開所される



5月8日、吉野中央公民館（阿波市）において、「あわ地域若者サポートステーション」の開所式典が開催された。

2006年、厚生労働省の委託を受けて徳島県若者サポートステーション（以下とくしまサポステ）が開所、今回のあわ地域若者サポートステーション（以下あわサポステ）は県内2ヶ所目となる。地域若者サポートステーション事業は、ニート等の若者の自立を支援するために個別・継続的なサポートを行い、地方自治体との協働により、地域の若者支援機関で構成されるネットワークの拠点としての役割を担う。

式典には阿波市、吉野川市をはじめとする県西部の関係行政機関のほか、NPO、労働団体、労働福祉事業団体などから約50人が出席。冒頭、久積育郎・労福協会長より「今の日本は14年連続して自殺者が増加しており、その中で若年者の占める割合も大きい。そして徳島県内にニート状態にある若者は6,200人とされている。県西部に若年者支援の拠点を作ることは、6年前のとくしまサポステ開所からの念願であった。若者に生きる力と夢を与える社会作りをしたい」と主催者挨拶があった。来賓挨拶の後、テープカット、恒例のくす玉割りが行われた。

あわサポステには専門資格を持ったスタッフ3名が配置され、就労や進学へ向けて支援する。

【あわ地域若者サポートステーション】

- ◇開所日 月曜日～金曜日 9:00～17:00
- ◇休日 土・日・祝日・年末年始
- ◇〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内18-1
吉野中央公民館（旧笠井福祉センター）内 2階
- ◇Tel:088-637-7553 Fax:088-696-2510



(社) 徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくぴあ徳島
TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113
E-mail tokushima@rofuku.net URL <http://tokushima.rofuku.net>

労福協

第28回定期総会

徳島県労福協第28回(通算38回)定期総会が、5月25日徳島県労働福祉会館において理事・評議員等48名が出席し開催された。川越副会長の開会挨拶、総会成立宣言に続き、総会議長には松岡連合徳島副事務局長を選出した。



主催者を代表して久積労福協会長が「…フランスの反格差デモは『1%の富裕層に対する99%の反乱』と言われ

全世界へと飛散した。新自由主義と格差社会から脱却する大きなうねりが始まった…(中略)…広範囲なデモである。社会保障の基本構想「医療・介護・子育て・生活保護」に加えて「雇用と就労」を加えるという日弁連人権部会の提案に賛同する。労福協は今後の10年へ向けた中期ビジョンを打ち立て、新たな体制へ向けた共助のネットワークのコアとしてしての役割を担うことが求められている。」と挨拶を述べた。

続いて飯泉嘉門徳島県知事の代理として久住武司商工労働部副部長、原秀樹徳島市長の代理として山中俊和経済部副部長、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構徳島職業訓練支援センター川村敏幸所長より祝辞をいただいた。

議案審議では第1号議案・第2号議案として2011年度事業報告ならびに会計決算報告、監査報告承認の件、第3号議案として2012年度運動方針(案)、4号議案として予算(案)、そして借入れ限度額の設定、定款の一部変更、役員改選と5号議案から7号議案まですべて満場一致で承認された。

議案審議の後、退任する久積会長および退任理事を代表して辻常勤理事が退任の挨拶を述べた。



新役員を代表して小松労福協新会長が「久積時代を踏襲しながらも、人材育成などにも対応していかなければ、今の厳しい政治・経済環境は乗り越えられない。2012年

久積前会長には、長年の功績を讃えて感謝状および記念品が贈られました。

度は国際協同組合年の様々な取り組み、パーソナルサポート事業の拡充、フードバンク事業への対応が大きな柱となる。会員の皆様と力を合わせて取り組んで行きたい。」と挨拶を述べた後、河村副会長が締めくくり閉会となった。

2012年度の活動方針

1. 労働者福祉活動の充実強化を目指します
2. 雇用就業支援活動を推進します
3. 社会貢献活動を進めます
4. 政策制度改善の活動を進めます
5. 新たな事業活動を進めます
6. 地域ライフサポートセンターを拡充し、勤労者の暮らしをサポートします
7. 公益法人制度改革への対応を進めます。
8. 賀川豊彦関連事業
9. 国際交流を進めます



〈2012年度 役員名簿〉

役職名	氏名	所属
会長	小松 義明	徳島県労働者福祉協議会
副会長	藤原 学	四国労働金庫
	川越 敏良	徳島県共済生活協同組合
	河村 和男	日本労働組合総連合会徳島県連合会
専務理事	藤森 申二	徳島県労働者福祉協議会
理事	元川 仁	徳島県勤労者福祉ネットワーク
	国見 聖	徳島県民間産業労働組合連合会
	小笠原 幸雄	徳島県高齢・退職者団体連合
	尾方 功	全徳島建設労働組合
	高橋 徹	徳島県職員生活協同組合
	梶原 樹	徳島県生活協同組合連合会
	新居 良雄	徳島労働安全衛生センター
	齋藤 英司	日本労働組合総連合会徳島県連合会
	東條 恭子	徳島県労働者福祉協議会
監事	渡邊 一雅	全労済徳島県本部
	郷司 明彦	四国労働金庫徳島営業本部
顧問	津川 正明	徳島県労福協元会長
	寺澤 三次	徳島県労福協元会長
	加藤 高明	徳島県労福協元会長
	澁谷 良臣	徳島県労福協元会長
	久積 育郎	徳島県労福協前会長

連 合

第83回メーデー盛大に開催

第83回メーデーが4月30日(月)、5月1日(火)の両日、県下5会場で盛大に開催され、約3,000人が参加。各会場とも雇用や賃金など労働環境改善を訴えるとともに、昨年3月に発生した東日本大震災の被災地復興支援強化に向け、岩手・宮城・福島の3県のアンテナショップから特産品を調達し、会場で販売するなど、被災地への連帯の輪も広がった。



徳島市新町川公園での徳島中央メーデーは、各構成組織、福祉事業団体から約2,000人が参

加。藤岡副実行委員長の開会あいさつ、議長団に新居副会長と藤田女性委員会事務局長が選出され、主催者を代表して河村実行委員長は、「東日本大震災から1年余りが経過した。あらためて震災で尊い命を失われた方々に哀悼の意を表するとともに、今なお避難生活を強いられている方々にも心よりお見舞いを申し上げます。連合徳島も被災地支援として、救援カンパや救援物資の輸送、現地へのボランティア派遣、街頭でのアピール行動と各行事に合わせ物産店を実施するなど、支援活動を実施してきた。被災地のために何かをしたいと、この間協力をいただいた各構成組織・団体の皆様方に心から感謝を申し上げたい。民主党に政権交代してから2年8ヶ月が経った。期待が大きかった分、落胆も大きい。民主党議員一人ひとりが様々な問題を共有化し、政権与党として自覚を持つとともに、知恵と工夫と行動で難局を乗り越えて欲しい。2012春季生活闘争は、『すべての働く者の労働条件・処遇改善』をスローガンに掲げて3年目の闘いとなったが、多くの組合で賃金維持カーブ

分は確保したものの、総合的に見ると1%を目安に適正な配分をめざしたことからすれば厳しい結果となった。また徳島市長選挙では、推薦候補の『原秀樹』氏が3選を果たすことができた。ご支援・ご協力をいただいた各構成組織・地協の組合員・家族等、皆さまに感謝申し上げます。最後に、今ほど労働運動の真価が問われている時はない。人は働くことで人と繋がり社会に参加できる。その実感が安心と活力を生む。『働くことを軸とする安心社会』構築に向け全力で立ち向かっていこう」と力強く訴えた。

続いて、来賓として飯泉知事、泉鳴門市長、福祉事業団体(藤原四国労金常務理事)、民主党・中谷参議院議員、社民党寺前代表、高井衆議院議員、連合推薦議員ネットを代表して庄野県議から、それぞれあいさつを受けた。

祝電・メッセージ披露の後、①2012中小春闘未解決組合を支援する特別決議、②メーデーの祝日化を求める特別決議、③良質な公共サービスの確立を求める特別決議、の3本が提案され、全体の拍手で採択された。続いて、齋藤事務局長から「働くことを軸とする安心社会実現に向け総力を結集しよう」とするメーデー宣言、連合東北ブロック代表アピールも全体の拍手で採択された。

その後、プラカード審査発表が行われ、国見副実行委員長からメーデー大賞・電力総連、優秀賞・全農林、努力賞・農協労連に賞品が贈られた。

森本副実行委員長の閉会あいさつ、最後に河村実行委員長が団結ガンバローを三唱し、中央メーデーを終了した。なお、集会終了後、デモ行進、スピード抽選会も行われた。

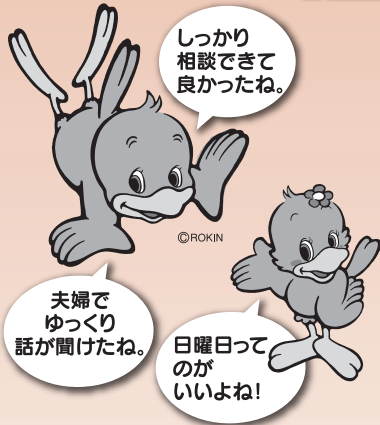


ろうきん

ローンのこと お気軽にご相談ください。

四国ろうきん 休日ローン相談会

実施日: 2012年4月~2012年9月末まで



【ローンセンター営業日】

徳島ローンセンター	【通常営業】 「平日」10:00~18:00	【土曜日】 10:00~17:00	【日曜日】 10:00~17:00
※定休日/水曜日・祝日(土・日の祝日は営業しています)			

【各支店の休日ローン相談会】

支店名	相談会日時	平日のローン相談
徳島北支店	「毎週」 日曜日 10:00~16:00	17:00まで窓口相談
徳島支店	「第1・3」 日曜日開催 10:00~16:00	17:00まで窓口相談
阿南支店	「第1・3」 日曜日開催 10:00~16:00	17:00まで窓口相談
鴨島支店	「第1・3」 日曜日開催 10:00~16:00	17:00まで窓口相談
池田支店	平日の窓口をご利用ください	17:00まで窓口相談

当初10年間は
上限金利を超えないので安心!

ろうきん キャップローン (上限金利特約付住宅ローン)

「3大疾病・障がい特約」をセットにして
ご融資する取扱を期間限定で受付中!

受付期間: 2012年4月1日~2013年3月31日
(受付分) (受付分)

3大疾病・障がい
特約を付けると

ずっと安心!

死亡・高度障がい
3大疾病
障がい特約

3つの保障がセット!

大きな安心!

保険金により
ローン残高が

0円!

※返済して債務を負われる方は、付保割合に応じた保険金額となります。
※保険金が支払われる場合であっても、利息の一部等をご負担いただく場合があります。

**徳島地区
営業店一覧**

窓口は説明書をご用意しております。

- 徳島ローンセンター TEL.088-634-1000 徳島市中島田町1丁目11-1
- 徳島支店 TEL.088-623-1112 徳島市昭和町3丁目35-1
- 徳島北支店 TEL.088-698-1111 板野郡北島町中村字東開10-5
- 鴨島支店 TEL.0883-24-3113 吉野川市鴨島町鴨島342-1
- 池田支店 TEL.0883-72-0399 三好市池田町サラダ1612-2
- 阿南支店 TEL.0884-22-2132 阿南市富岡町ノ町71-1

くわしくは、お近くのろうきんへ
お問い合わせください。

ずっと承く
R 四国ろうきん
2012年4月1日現在

全 労 済

全労済徳島県本部

地域貢献助成事業

2012年は国連の定める「国際協同組合同年」です。全労済徳島県本部では県本部独自の取り組みとして、全労済の理念「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」に基づき、2012年国際協同組合同年を契機として、徳島県の地域に貢献する活動への助成事業を実施いたしました。

「助成先団体」募集の概要

助成対象となる活動	<p>徳島県内の地域社会に貢献する非営利の活動を支援します。 具体的には、以下のような活動を対象とします。</p> <p>(1) 環境・子ども・福祉や防災など活動の分野を問わず、地域に密着し地域住民のために行う活動</p> <p>(2) 助成により、活動がどのように充実・発展するのかが明確な活動</p>
募集期間と助成対象期間	<p>応募期間：2012年3月1日～2012年3月31日 (外部有識者などによる審査・選考の上、助成対象事業を決定しました。)</p> <p>助成対象期間：2012年7月20日～2013年7月19日</p>
助成対象団体	<p>徳島県内を主たる活動の場とする、以下の全てに該当する団体を対象とします。</p> <p>(1) 徳島県内に本拠を持つ非営利の団体 (NPO法人、任意団体、NGO、ボランティア団体等)</p> <p>(2) 設立後1年以上の活動実績を有する団体(基準日：2012年3月31日)</p> <p>(3) 直近の年間収入が300万円以下(全年度繰越金を除く)</p> <p>※ 同一年度内において全労済本部「地域貢献助成事業」により助成される団体は除きます。</p>
助成内容	<p>(1) 助成総額：100万円</p> <p>(2) 1団体に対する助成上限額：25万円</p> <p>(3) 応募は1団体につき1事業のみとします。</p>
選考経過	<p>(1) 第1回審査委員会 2012年4月25日(水) 10:30～12:00</p> <p>(2) 第2回審査委員会 2012年5月16日(水) 16:30～17:30</p> <p>(3) 選考委員会 2012年6月13日(水) 15:45～16:45</p>
選考結果	<p>「2012年徳島県本部地域貢献助成事業」の選考結果報告については、2012年7月27日(金)開催の第3回県本部代表者会議にて発表されます。</p>



勤労者福祉ネットワーク


あわ～ず徳島 徳島市勤労者福祉サービスセンター

中小企業と大企業間の労働福祉格差を縮小し、中小企業勤労者が生涯にわたって豊かで充実した生活がおくれるよう、中小企業が単独で実施しがたい従業員に対する福利厚生事業を、経営者と共同して実施しています。


■ 主な事業

生活安定事業	中小企業退職金共済制度の普及活動、暮らしの安心情報提供、ファミリー・サポート・センター利用補助券発行など	慶弔共済給付事業	祝い金、見舞金、弔慰金
自己啓発支援事業	スキルアップなど各種講座受講補助、各種講座のご案内など	健康維持増進事業	健康診断補助、インフルエンザ予防接種補助、徳島マラソン参加補助、健康ウォーク・健康フェア(体力測定・メンタルヘルス相談)開催、家庭常備薬あっせんなど
余暇活動応援事業	スポーツ大会の開催、日帰りバスツアー開催、提携施設利用補助、映画・コンサートチケット割引		

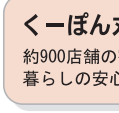
■ 会員向け発行物



会報誌 “あわ～ず徳島”
(2ヵ月毎)
日帰りバスツアー、特別企画イベントなど案内



とくとく券(6ヵ月毎/4月・10月)
提携施設利用補助
・プール ・温泉入浴無料など



くーばん丸。(1年毎/4月)
約900店舗の割引・暮らしの安心情報提供

■ 4つの会員制度 <事業所のニーズに合った制度を選択できます>

会員制度	入会金/1名	月会費/1名
スタンダード会員 [①+②+③]	500円	1,000円
フレンドリー会員 [①+②]	500円	700円
メディカル会員 [①+③]	500円	700円
アシスト会員 [①]	500円	400円

- ① 暮らし・子育て・余暇応援、生活安心情報提供、自己啓発支援、健康増進支援、徳島マラソン参加補助、家庭常備薬あっせん
- ② 慶弔共済給付
- ③ 定期健康診断補助、インフルエンザ予防接種補助、宿泊補助、資格取得などスキルアップ受講料補助

中小企業サポート事業

お気軽にお問合せください
(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎(03)六九〇七一一三四(代)
FAX(03)五九五五一一八二一一

- **外部積立型だから管理が簡単!**
従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- **パートさんもご加入いただけます**
- **適格退職年金制度からの移行先です。**
- **国・確定!**
新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
- **外部積立型だから管理が簡単!**
従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。

ご存じですか?
「中退共」の
退職金制度
なら、掛金
に国の助成
が受けられ
ます。

詳しくはホームページをご覧ください

地域労働者福祉協議会の活動

徳島中央ライフサポートセンター

～人権研修会開催される～

- *と き 4月18日(水)18:30～
- *ところ 労館502号室
- *参加者 40名
- *講師 徳島県ハンセン病支援協会会長
十川 勝幸さん



4月18日(水)
18時30分より労館
502号室にて40人
参加のもと人権研
修会を開催した。

冒頭、森本徳島中央ライフサポートセンター会長が、多忙の中快く講師を引き受けていただいた十川会長に対し、お礼を申し上げると共に「十川会長は1998年頃よりハンセン病支援活動を始め、講演会や街頭キャンペーンなど偏見や差別解消に向け積極的に取り組まれています。ぜひ皆さんと一緒にハンセン病について言われのない差別について学習したいと思います。」と主催者を代表してあいさつした。

つづいて、十川勝幸会長の「ふるさとに帰りたい～無知からの偏見・差別～」という演題で講演された。

以下講演内容である。

「ハンセン病(昔のらい病)とは遺伝する病気ではなく一種の感染症であり、感染力も発病力も非常に弱い病気です。昭和21年に開発された特效薬プロミンの使用で簡単に治癒する病気ですが、昔は薬もなく顔や手足に大きな後遺症が残ったので、特に嫌われ恐れられていた病気なのです。

「らい予防法」(平成8年3月廃止)により、患者さんは治癒後50年も60年も療養所に隔離されていたのです。療養所での過去の生活とは、隔離の際には、トラックの荷物台や貨車やカンドリ舟(ポンポン船の引き舟)などに乗せられ、監視されながら、また歩いた後を消毒されながら療養所に行き、お金は施設専用の商品券に両替され、家族を守るために偽名使ったのです。

病室は20畳敷の畳の部屋へ20人の患者が入られ、刑務所の罪人のような扱いをされたのです。またこれらの施設には一般の病院に無い施設、すなわち監房・火葬場・納骨堂があったことから差別の状況が推察できます。

療養所での現在の生活は、住環境や職員の体制もよくなり、非常に穏やかな生活をされています。現在15ヶ所の療養所で約2,700人が生活しているのです。

回復者たちは重度の障害を持ちながら、お互いにボランティア活動をし合い、明るく前向きにそして周囲の人たちに感謝しながら生活しており、また舌で点字をおぼえて教養を高める人もいます。

回復者の中には、「いまだに地域での偏見・差別が強くて、自分たちは生きているうちには故郷へは帰れない。死んで灰になって風によって故郷へ帰る、ということで死んだら灰を海に撒いてほしい。」と言っている人もいます。また60年目に生まれ故郷に帰って「ふるさとの風を感じることができた。」と言われるのです。それほどふるさは恋しく、懐かしく、帰りたいと思っておられるのです。

回復者は、いま平均年齢が80才です。この人たちが健在なうちに生まれ故郷へ自然体で帰れるような地域作りが急がれますので、多数の皆様方のご協力ご支援のほどよろしく願いいたします。

以上、講演内容。



最後に、板東徳島中央ライフサポートセンター所長が「ハンセン病について、無知から知らず知らずのうちに差別してきたかも知れませんが、本日は迫力のある講演ありがとうございました」とお礼の言葉を述べた。

地域労働者福祉協議会の活動

徳島西部ライフサポートセンター

～寄り合い防災講座を共催～



5月24日(木)
三好市池田総合
体育館において
「寄り合い防災
講座」が開催さ
れました。今多く

の方が地震への関心があることから、黒川征一県議の呼びかけで徳島県や自主防災会、徳島西部ライフサポートセンター等々が共催したものです。

地震の権威者でテレビ等に度々出演され、内閣府中央防災会議委員の岡村眞教授の講演とのことで、400名以上の方が参加され、熱心に耳を傾けられていました。



まず最初に、徳島県県土整備部住宅課建築指導室 耐震化担当 主任主事 滝下裕子さんより「住宅・建築物の耐震化について」の講演がありました。1981年6月に建築基準法が改正されたため、1981年5月31日以前に建てられた木造住宅にお住まいの方は耐震診断を受けてください、とのことでした。診断の結果を踏まえて、耐震改修等をすべきとのことでした。現状では1981年以前の木造住宅の多くが耐震診断をしていないので、県及び市町村が緊急に耐震診断の推進をしていくことが必要ではないかと思いました。

次に、高知大学総合研究センター 防災部門 特任教授 理学博士 岡村眞さんより「巨大・南海地震に備える」という演題で講演していただきました。教授から100年毎の南海地震は2025年までには必ず発生すると聞き、南海地震が遠い先の話ではないということを思い知らされました。その中で①2階の屋根が1階を押しつぶ

すので寝室には何も置かず、靴だけは必ず置くこと。逃げる際にガラスの破片を踏んで外へ出ることになるので怪我をしない為。②部屋のドア近くにバール(ドアのこじ開け、脱出口造りに使用)をおいて置くこと。③地震シェルターを置く。部屋のタンスや本棚など倒れてくるものは固定しておく、等の地震対策を急ぐことを強調していました。

参加者からの質問も多く、地震について高い関心があることが分かりました。また、スライドでの地震などの映像もあり、地震の恐ろしさを改めて感じた講座となりました。

徳島南部ライフサポートセンター

第2回徳島南部LSC定期総会報告

5月11日(金)

阿南市市民会館において、第2回徳島南部ライフサポートセンター定期総会が各構成組織からの代議員をはじめ約40名参加のもと開催されました。



「暮らしのなんでも無料相談」及び勤労者の福祉向上の取り組み等が報告され、次年度に向け①くらしのなんでも無料相談の充実②フードバンクの設立③国際協同組合年の取り組み④県労福協・労金・全労済等との共催事業・各種講座等が承認されました。

南部LSC事務所についても、有効利用を計っていきます。

なお定期総会終了後、阿南市男女共同参画室との共催で、徳島新聞社営業部営業課課長：末澤弘太氏より『震災を体験して』のテーマで女性と子供にも配慮した訓練を!!等の講演を受け、改めて防災の重要性を再認識させられました。



わーくびあ徳島

徳島県労働福祉会館 第42回通常総会

労働福祉会館の第42回通常総会が5月25日わーくびあ徳島において開催され、関係者34名が出席した。

藤原理事の開会挨拶で始まり、資格審査および総会の成立が宣言された。その後、国見聖徳島造船労働組合執行委員長が議長に選出され、主催者を代表して小松義明理事長が挨拶を述べた。



徳島県、徳島市からの来賓祝辞と祝電の披露が行われた後、議案の審議に移り、第1号議案「平成23年度業務報告・決算報告及び会計監査報告の件」、第2号議案「平成24年度事業計画・収支予算案の件」、第3号議案「定款の変更の案の件」、第4号議案「役員補選の件」のすべてについて、原案どおり承認された。この後、総会は一時的に中断し理事会が開催され、その結果、副理事長に久積育郎(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク理事長、専務理事に藤森申二(社)徳島県勤労者福祉協議会専務理事が選任されたことが報告された。

今年度退任となった辻博史常務理事が挨拶を述べた後、川越理事の言葉により閉会した。

役員体制

役職名	氏名	所属
理事長	小松 義明	徳島県勤労者福祉協議会
副理事長	久積 育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
常務理事	藤森 申二	徳島県勤労者福祉協議会
理事	藤原 学	四国労働金庫
〃	川越 敏良	全労済徳島県本部
〃	元川 仁	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	齊藤 英司	日本労働組合総連合会徳島県連合会
監事	渡邊 一雅	全労済徳島県本部
〃	郷司 明彦	四国労働金庫

カフェ『のんびり茶屋』1周年を迎える!

とくしま労福協のカフェ事業『のんびり茶屋』は就労阻害要因を抱えている若者の就労体験の場として、昨年の6月に開始、無事1周年を迎えることとなりました。開催場所はヒューマンわーくびあ1Fで行っています。調理作業において事前準備の必要性を学び、実際に来客の対応することで就労体験を行うことを目的としています。



今年度は5月21日、6月12日に開催しており6月26日にも開催を予定しています。以前までは利用者さんの負担を減らすためお客様は20名限定でしたが、初の試みとして6月12日は30人をこえるお客様をお招きさせていただきました。

今後も周辺地域にのんびり茶屋の周知・広報をはかり、中間就労の場として発展させていきたいと思っております。



[ご予約・お問合せ]

若者支援ジョブスタとくしま

若年無業者等就労体験事業

◇〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
ヒューマンわーくびあ徳島1F

◇電話&FAX (088) 625-5644

◇メール sph847c9@space.ocn.ne.jp

■ 受付時間/9:00~17:00

■ 休日/土・日・祝日・年末年始



はたらく人の、生活応援バンク
Rろうきん

ろうきんは、営利を目的としない金融機関。
サービスのすべては利用者の生活向上のためにあります。
夏、レジャーやバカンスを楽しみたいシーズンです。
行動範囲がぐんぐん広がるあなたにOK!のろうきん。

ROK!N
ほら、ろうきんにはOK!がある。

ZENROSAI NEWS

社会貢献付 火災共済
エコ住宅専用

風水害等給付金付火災共済

エコ住宅専用の保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

●掛金（年払いのみとなります）

住宅構造	木造・モルタル等	鉄筋コンクリート
1口あたりの年掛金	68円	39円

※住宅・家財とも同じ掛金です。



●加入できる住宅（下記のエコ設備を設置し使用している住宅）

オール電化住宅の電気設備*
（給湯・厨房・空調設備といった家庭内の熱源をすべて電気でまかなう住宅）

自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器
（例 エコキュート）

太陽光発電システム

ガスコージェネレーションシステム
（例 エコウィル）

潜熱回収型給湯器
（例 エコジョーズ）

●最高保障額

通常の火災共済と同じ口数となります。

住宅：4,000万円（400口）
家財：2,000万円（200口）

■加入申込みに際しては、共済掛金の一部を全労済が選定する環境活動団体に寄付する旨についての同意が必要となります。

※オール電化住宅としての電気料金の割引適用等で確認することもできます。
注)上記設備に該当するのかが不明な場合は、全労済までお問い合わせください。

お問い合わせ

全労済
徳島県本部
（徳島県共済生活協同組合）

〒770-0942
徳島市昭和町3-35-1
労働福祉会館1F
☎088-625-2340
営業時間/9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日を除く）

助け合いから生まれた保障の生協です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1（わーくびあ徳島内）
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://tokushima.rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 久積育郎
印刷者 (有)フォトプリント白石